

# 総合美術力を生かし、心豊かな社会の実現に貢献する

## 視聴者のみなさまに届くように魅力あるものを

### NHKアート



小野木 昌史社長

第97回放送記念日、おめでとうございます。NHKアートは今年、創立61年目を迎えます。創立以来、放送技術の発展とともに、質の高い映像

番組美術では、リアルとデジタルを融合させ、その番組の世界を広げることができると技術がますます求められるようになってきました。NHKアートは、その要求に応えることができるよう体制を整えています。2021年に放送されたNHK大河ドラマ『青天を衝け』では、時空を超えて物語を見つめる徳川家康、現地にいかずに制作したパ

えは、番組を見た皆様から高く評価していただきました。私たちは放送コンテンツを豊かにする挑戦を続けています。創立61年、10年後もわたしたちの美術の力で放送文化を支えていくことができよう、ユニバーサルデザインやSDGsを生かした美術セットの研究・開発にも取り組んでいます。

インターネットを使った動画配信の勢いはこれからも拡大しつつあるかとも思っています。しかしわたしたちが支えてきたテレビの放送文化には、日常をカラフルにする力があります。これまで培っ

てきたリアルへの進化をはかり、また放送を取り巻く環境の変化とともに時代に合うよう美術力をアップグレードし、放送文化を支えてまいりました。

特徴的なシーンの美術をリアルとデジタルのメンバーがともに創り出しました。また2021年4月に放送されたNHK大河ドラマ『きれいのくに』では、AIを用いたCG・VFXによる顔の入れ替えを担当しました。このドラマはほとんどの大人が、同じ顔をした木下理菜園に暮らす高校生を描いたこれまでにないSFドラマであり、その演出をカラフルにする力が求められています。

私たちは、リアルとデジタルのメンバーがともに創り出すことができる技術がますます求められるようになってきました。NHKアートは、その要求に応えることができるよう体制を整えています。2021年に放送されたNHK大河ドラマ『青天を衝け』では、時空を超えて物語を見つめる徳川家康、現地にいかずに制作したパ

てきたリアルへの進化をはかり、また放送を取り巻く環境の変化とともに時代に合うよう美術力をアップグレードし、放送文化を支えてまいりました。

私たちは、リアルとデジタルのメンバーがともに創り出すことができる技術がますます求められるようになってきました。NHKアートは、その要求に応えることができるよう体制を整えています。2021年に放送されたNHK大河ドラマ『青天を衝け』では、時空を超えて物語を見つめる徳川家康、現地にいかずに制作したパ